

埼玉中部環境センターだより

—新たなごみ処理施設等の建設に向けて—

令和5年秋号（令和5年9月1日発行）

埼玉中部環境保全組合

新たなごみ処理施設等の建設予定地を

「鴻巣市郷地安養寺地内」に決定しました

埼玉中部環境保全組合は、令和4年8月25日に、管理者の諮問機関である埼玉中部環境保全組合新たなごみ処理施設等建設検討委員会（以下、「検討委員会」という。）に対し、「基本合意書（令和3年9月16日締結）を受け、建設予定地を決定することについて」を諮問しました。

これを受けた検討委員会は、基本合意書に示された場所を建設予定地に決定することについて、『多様な角度からの建設予

定地の現状』『地元住民のごみ処理施設等の建設に関する話し合いの経過』『当センターの老朽化の状況』などを主眼に調査研究を行い、検討を重ねた結果、令和5年1月19日開催の第4回会議において、「鴻巣市 北本市 吉見町 新たなごみ処理施設の整備促進に関する基本合意書（令和3年9月16日締結）」を踏まえて調査研究及び検討した結果、建設予定地を鴻巣市郷地安養寺地内に決定することが妥当である。」との答申をまとめました。

令和5年2月14日に招集された令和5年第1回埼玉中部環境保全組合議会定例会後の議会全員協議会において、検討委員会での調査研究及び検討の経過並びに答申の内容を報告しました。

これに続いて開催した埼玉中部環境保全組合正副管理者会議において、「埼玉中部環境保全組合は、検討委員会の答申を尊重し、基本合意書に示された鴻巣市郷地安養寺地内を建設予定地として、新たなごみ処理施設等の建設に係る事務を進める。」ことを決定しました。この決定を基に、現在、新たなごみ処理施設等整備基本計画の策定を進めています。

新たなごみ処理施設等の建設に向けて

埼玉中部環境保全組合 管理者 宮崎善雄



埼玉中部環境保全組合
管理者 宮崎善雄

となっております。

そのような中、当センターを管理する埼玉中部環境保全組合（鴻巣市・北本市・吉見町で構成）は、令和5年2月に新たなごみ処理施設等の建設予定地を「鴻巣市郷地安養寺地内」に決定しました。そして、令和5年度からは、どのようなごみ処理施設等を造るかを描き出す基本計画の策定を進めています。建設予定地の決定にご尽力くださった新たなごみ処理施設等建設検討委員の皆さまはじめ、関係方々に改めて深く感謝申し上げます。

近年、ごみ処理技術は日進月歩であり、ごみ処理により生産される有価物やエネルギー等をさまざまな形で有効活用することで、ごみ処理施設は今以上に地域を支え、住民から親しまれる存在となりました。その一方で、ごみ処理施設の建設に対して不安をお持ちの方もいらっしゃると思います。このようなことから本組合では、2市1町の住民の皆さまに、広報紙の発行、説明会の開催、ホームページの活用など多様に、また積極的に情報提供し、本事業についてご理解いただくよう努めてまいります。

また、私どもは、ごみ処理施設等を建設し、よりよく運営していくためには、地元のご理解ご協力がたいへん重要であると考えています。このことから、現在操業中の施設では、埼玉中部環境センター運営協議会等を通じて、施設の運転状況などを地元の皆さまに報告し、適宜、協議等を行うなど、地元と連携した運営を実践しています。新たなごみ処理施設等の建設に際しても、この実績を踏まえつつ、よりよい対応ができるよう取り組んでまいります。

新たなごみ処理施設等の建設は、2市1町と組合が連携して進める半世紀に一度の大事業であります。早期に、より効率的で持続性に優れた施設の建設を目指してまいりますので、皆さまのご理解ご協力を心よりお願い申し上げます。

※1 基本合意書：埼玉中部環境保全組合の構成市町である鴻巣市・北本市・吉見町が、「埼玉中部環境保全組合を事業主体として、新たなごみ処理施設の建設を行う。」施設の建設予定地は、鴻巣市郷地安養寺地内とする。」等について定めた『鴻巣市 北本市 吉見町 新たなごみ処理施設等の整備促進に関する基本合意書』（令和3年9月16日締結）

「埼玉中部環境センターだより」新たなごみ処理施設等の建設に向けて— 令和5年秋号— は、埼玉中部環境保全組合の事業のうち、新たなごみ処理施設等の建設に関する情報を集中して掲載する広報紙です。今後、事業の節目でその間の取り組み状況やその後の事業展開などについて特別号を発行していく予定です。より多くの皆さまにご覧いただければ幸いです。

建設予定地の位置は、鴻巣市郷地安養寺地内



建設予定地周辺の状況

新たなごみ処理施設等整備事業の住民説明会のお知らせ

住民説明会を鴻巣市・北本市・吉見町で開催します

埼玉中部環境保全組合は、次の日程により「新たなごみ処理施設等整備事業の住民説明会」を開催します。この説明会では、事業の全体スケジュール、建設予定地周辺の環境保全への対応および令和5年度に計画している主な取り組みなどについて説明する予定です。多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

今後も、積極的な情報提供に努め、建設予定地周辺の皆さま、構成市町にお住いの皆さまのご理解とご協力をお願いしてまいります。

令和5年度 住民説明会の日程

【近隣説明会】

9月30日(土) 午前10時から

笠原公民館 講座室A・B

◆定員50名(先着)

◆会場である講座室A・Bが満席となった場合は、視聴覚室(定員50名)でのモニター視聴となります。

◆原則、建設予定地の近隣にお住いの方が対象となりますが、2市1町の住民の方であれば入場することができます。

【鴻巣市 説明会】

9月28日(木) 午後6時から

クレアここのす 大会議室A・B

◆定員150名(先着)

【吉見町 説明会】

10月5日(木) 午後6時から

フレサよしみ 大ホール

◆定員150名(先着)

【北本市 説明会】

10月8日(日) 午後2時から

北本市文化センター 第1・2会議室

◆定員150名(先着)

◎問い合わせ先 埼玉中部環境保全組合 建設推進課

電話 0493(54)0666

新たなごみ処理施設等整備基本計画の

策定について検討委員会に諮問しました

令和5年7月6日(木)、午後2時から、埼玉中部環境センターで埼玉中部環境保全組合新たなごみ処理施設等建設検討委員会を開催しました。

今回で第2期となる検討委員会は、本組合が行う新たなごみ処理施設等の整備に関する管理者の諮問に応じて、調査研究及び検討を行うため設置されたものです。

宮崎管理者から委員16名の方に委嘱状を交付した後、委員の互選により、委員長及び副委員長が選任されました。

また、会議では、管理者から委員長に対し、

「埼玉中部環境保全組合新たなごみ処理施設等整備基本計画の策定に関すること」を諮問事項とした諮問書が手渡されました。

検討委員会は、

この諮問を受け

て、約2年の予定

で答申をまとめ

るための調査研

究及び検討を開

始しました。



宮崎管理者

荒井委員長

◎新たなごみ処理施設等整備事業スケジュール(案)

新たなごみ処理施設等の早期整備を念頭に置き、令和14年度の施設供用開始を目指す事業スケジュール(案)とします。

事業スケジュール(案)

項目	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11~13年度
施設整備基本計画							
生活環境影響調査							
用地買収							
整備運営事業発注手続き(PFI/PPP方式)							
造成工事・建設工事							

※事業スケジュール(案)は、令和5年6月に策定した「新たなごみ処理施設等整備構想」から抜粋。現在、埼玉中部環境保全組合ホームページで公開しています。

※前記した整備構想策定時点の見通しとなりますので、今後、事業が進む中で、適宜、見直してまいります。

埼玉中部環境保全組合新たなごみ処理施設等地元協議会を設置しました

埼玉中部環境保全組合は令和5年8月1日(火)、午後6時から、鴻巣市笠原公民館で「第1回埼玉中部環境保全組合新たなごみ処理施設等地元協議会」を開催しました。

この協議会は、地元住民の皆さまと組合が、ごみ処理施設等の円滑な整備及び運営のための協議を行うことを目的に設置されたもので、施設周辺の生活環境の保全に関する事項や、その他新施設の整備等に必要事項を協議します。

この協議会の委員は、地元自治会や土地改良区の代表者、農業委員等農業関係の代表者、その他管理者が必要と認める者として地元の環境衛生委員、地元児童の保護者の方などで構成されており、宮崎管理者から27名の方に委嘱状を交付しました。その後、委員の互選により、会長及び副会長が選任されました。



意見箱を設置します

埼玉中部環境保全組合では、住民の皆さまから、新たなごみ処理施設等の整備に関するご意見やご要望等を広くいただくため、埼玉中部環境センター、鴻巣市役所、北本市役所、吉見町役場、鴻巣市笠原公民館に意見箱を設置します。意見の提出方法等については、組合ホームページに詳しく掲載しておりますので、ご確認ください。ご意見ご要望をお待ちしております。

また、意見箱に関するご質問等ありましたら左記までご連絡ください。

◎問い合わせ先 埼玉中部環境保全組合 建設推進課
電話 0493(54)0666

編集後記

埼玉中部環境センターだより初の特別号となる「令和5年秋号」の発行です。当事業も施設整備基本計画の策定作業のスタートにより、事業前半の節目の1つにさしかかりました。

より多くの皆さまに当事業の情報を届けよう担当職員一同、力を合わせてがんばります。

